

第164回  
愛知学院大学モーニングセミナー

「ドキュメンタリー映画ができるまで」  
～『おっさんずルネッサンス』の制作過程を追う～

ドキュメンタリー映画監督・映画批評家  
高野 史枝



2019年11月12日

・映画を見るのが大好き・・・という方は多いはず。人生は一度切り、体験できることはられています。しかし映画を見れば、行ったことのない場所を知ったり、時代をさかのぼったり未来をのぞいたり、歴史上の人物に（画面を通してですが）会えたりも出来ます。映画のある時代に生まれてよかった！というのは、映画好きの方には、まさに実感でしょう。

・しかし、映画をよくご覧になっている方でも、その製作方法についてご存知の方は意外と少ないのではないのでしょうか。

・今回のモーニング・セミナーでは、名古屋在住のドキュメンタリー映画監督である私・高野史枝が、「ドキュメンタリー映画の出来るまで」と題し、映画製作の現場での体験をもとにして、ドキュメンタリー映画が出来上がるまでの過程をお話します。「なるほど、映画が出来上がるまでにはそういうことが必要なのか・・・」と、理解していただくことで、これから映画をみるときの、新たな視点が獲得できるのではないかと・・・と願っています。

・「劇映画」ではなく（ドラマを作るには、資金的、力量的に、あまりにも手に余るので・・・）ドキュメンタリー映画の製作過程に限定させていただくことをお許しください。

・私は2015年に「厨房男子」というドキュメンタリー映画を製作し、名古屋、大阪、京都横浜など、日本の主要都市で劇場公開ができませんでした（最初の部分だけでもみていただこうと思っています）。そして2019年の今年、第2作目になる「おっさんずルネッサンス」という映画の、まさに製作の真っ最中です（今年12月完成予定。2020年1月劇場公開）。その体験から、お話をさせていただきます。

内容は・・・

なぜ映画を作ろうと考えたのか（できる・・・と思った理由）

実際の製作過程はどんな風だったのか

最も苦労した点は何だったのか

作り上げた感想

現在製作中の作品の紹介・その作品への思い

という所です。

・お聞きになつての質疑も行いたいと思っています。どうぞ よろしくお願ひいたします。